

第 1 1 回委員会会議結果概要（案）

	会議結果要旨
第 11 回 会 議	<p>○第 1 0 回委員会会議結果関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし。 <p>○モニタリング結果の施工直後での検証関連</p> <p>[主な意見及び対応]</p> <p><歌代委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング結果から、短期間の中で、よく生物が再定着してよい結果である。 <p><竹川委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 類似する海岸と塩浜では、自然環境が違う。検証する付着生物について比較するデータとして十分だとは言えない。 <p><佐野委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この結果だけでいい方向だというふうには読めない。やはり、最低 1 年の調査結果を待つ必要がある。 <p>○平成 1 9 年度の実施計画案関連</p> <p><石川委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捨石先行で一定の安全が保たれるなら、2 工区に分けて早くやるのは、市川市としても地権者の側に立ったとしても賛成である。 <p><歌代委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今施工している石積み護岸の完成図は非常に殺風景であるという意見が大勢を占めており、続きの護岸をやる部分でバリエーションを当てはめてもらいたい。 ・ 2 工区に分けて工事の進捗を図ることは賛成する。 ・ 我々は、海に面している地元であり、1 年待って工事をやるなどとは、理解に苦しむ。今やっているモニタリングを継続して検証していけば良い。 <p><及川委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の工事は、台風も無く順調過ぎるほど順調にいった工事だが、来年はわからないので、その辺をよく検討してもらいたい。 ・ 汚濁防止が確実なら、捨石案で 2 工区両方からやるのは賛成である。 <p><佐野委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最低 1 年間のモニタリングの結果を見て、次の工事を考えるのがよい。

	会議結果要旨
第11回会議	<p><清野委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後背地計画が決まらずに、護岸を進めることは不安なので、地権者の合意形成を進めてもらいたい。 ・ 一般の海岸事業と異なり、三番瀬再生の観点から地元の熱意が必要である。 ・ 2工区については、モニタリングの方法をどうやって反映するのかということが決まってからが得策である。 <p><川口委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 護岸が完成するまでに起こるかも知れない震災等の災害対策を検討しておくべきである。 ・ お金をかけてモニタリングするだけではなく、海を知る者や研究者の経験則も大事である。 ・ 安全性を優先させ、この断面の中でバリエーションを考えて、プロムナードや曲線を持った親水性のある護岸を検討すべき。 <p><後藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然再生の場の可能性を考慮すると、2工区の位置についてはギリギリまで議論すべきである。 <p><遠藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリングは仮説を立て、それに対する予測と評価基準をつくる必要があるが、現状としてはある程度モニタリングをしながら進めるということはやむを得ないと思う。 ・ 工事期間中の安定性については、計算が可能であり、きちんと担保できるような手立てはできる。 <p><工藤委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画は既に再生会議で、知事へ答申されており、安全の確保からも5年なら5年で完成しなければ事業計画を守ったことにならない。事業計画を念頭に置く必要がある。 ・ 1年間のモニタリングの成果を知る必要があるので、3月のモニタリング結果は今年度の会議が終わっていても、現在の委員には提示してもらいたい。 <p><竹川委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 順応的管理は実施計画の柱になっているから、それをきちっとやった上で次の手順に進んでいただきたい。 <p>※ 平成19年度実施計画案は、捨石案を第17回再生会議へ報告することとなった。</p>

会 議 結 果 要 旨

第
11
回
会
議

○傍聴者の意見

- ・ 順応的管理とモニタリングを重視する観点で護岸を進めるべきである。
- ・ 地元市も、再生計画事業に協力する姿勢がほしい。
- ・ モニタリングをきちんとして進めるべきである。